

事業者排出量削減報告書

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	京都府綾部市下八田町27番地の1								
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	株式会社 関西丸ロジスティクス 代表取締役 田中 文和								
事業者の主たる業種	一般貨物運送取扱事業：貨物運送取扱事業								
該当する事業者要件	<input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者（大規模エネルギー使用事業者（原油に換算して1,500キロリットル以上）） <input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者（大規模運送事業者（トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者（その他の温室効果ガスの大規模排出事業者（二酸化炭素に換算して3,000トン以上））								
計画期間	平成20年4月～平成23年3月								
基本方針	1.車両購入については、排出ガス・燃料を考慮し、購入する 2.省エネ基準を達成した車両への代替に努める 3.運転方法の配慮（急発進・急加速・空ふかしの排除・アイドリングストップ等）、エコドライブの徹底 4.適正な車両の整備 5.最大積載量に見合った輸送単位の実施								
推進体制	1.若狭運輸局提出の「輸送安全マネジメント」安全管理規程に基づき社内組織を整備し、「安全運転心得5ヶ条」を規定し、全員に周知徹底を一事と取り取り組む 2.「輸送安全マネジメント」規程に基づき、各エネ運転・車両管理等内部監査を実施する 3.全事業所・全社員を対象に、年2回の事故防止研修会を開催する 4.関係機関・当社独自ポスターを制作し、全事業所に掲示し意識の啓蒙に努める								
	環境マネジメントシステム名称								
	適用範囲								
	取得年月日								
年度ごとの具体的な取組及び措置の状況	年度	設備、対象、工程等	措置内容						
	20	車両	排出ガス規制適合車 13台増車						
	21	車両	排出ガス規制適合車 40台増車						
	22	車両	排出ガス規制適合車 9台増車						
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績） （19）年度 （二酸化炭素換算）	目標年度（計画） （22）年度 （二酸化炭素換算）	増減率 （計画）	報告年度（実績） （22）年度 （二酸化炭素換算）	増減率 （実績）			
	A 事業所等排出区分	565.0 t	548.0 t	-3.0 %	767.9 t	35.9 %			
	B 輸送車両排出区分	6,502.0 t	9,155.0 t	40.8 %	8,038.2 t	23.6 %			
	C その他排出区分	t	t	%	t	%			
	排出合計	*1 7,067.0 t	*2 9,703.0 t	37.3 %	*4 8,806.1 t	24.6 %			
実績に対する自己評価	昨年度（21年度）実績より排出量削減を達成することができました。しかし目標には至らず、今後更なるエコロジー活動推進に全社的に取り組んでいきます。								
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）		
	運輸車輛	二酸化炭素換算 総走行距離	0.628 t-CO2/千km	0.611 t-CO2/千km	-2.7 %	0.374 t-CO2/千km	-40.4 %		
		二酸化炭素換算			%		%		
		二酸化炭素換算			%		%		
実績に対する自己評価	高効率化の図れた配送ルートの確立により、効果ある実績を残すことができました。								
その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度（計画）				報告年度（実績）			
		取組量等		（二酸化炭素換算）		取組量等		（二酸化炭素換算）	
	森林の保全及び整備	（整備面積）	ha	（吸収量）	t	（整備面積）	ha	（吸収量）	t
	府内産の木材の利用	（利用量）	m ³	（削減量）	t	（利用量）	m ³	（削減量）	t
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	（売電量）	kwh	（削減量）	t	（売電量）	kwh	（削減量）	t
		（熱供給量）	GJ	（削減量）	t	（熱供給量）	GJ	（削減量）	t
	グリーン電力の購入	（購入量）	kwh	（削減量）	t	（購入量）	kwh	（削減量）	t
	家庭における温室効果ガス排出量の削減効果分の購入	（購入量）	t	（削減量）	t	（購入量）	t	（削減量）	t
	削減量等合計			*3 t			*5 t		
	差引排出量	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）			
（排出合計－削減等合計）	*1 7,067.0 t	(*2)-(*3) 9,703.0 t	37.3 %	(*4)-(*5) 8,806.1 t	24.6 %				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	<input type="checkbox"/> 引越作業による不要家具の有効活用 <input type="checkbox"/> 地元登山レースによる事前の道路清掃及び開催協賛								
特記事項	<input type="checkbox"/> 輸送安全マネジメント・安全管理規程の基づく安全確保・安全運転（省エネ運転）の実施、社（車）速 80km・50km・30kmの遵守 <input type="checkbox"/> 排出ガス規制適合車の導入 <input type="checkbox"/> 事故防止研修会実施によるエコドライブ運転の徹底 <input type="checkbox"/> LED電球導入による省エネ対策 <input type="checkbox"/> 省エネ関連ポスターの掲示による意識改革								

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外の事業者の方はレ印の記入は不要です。
 注 2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。
 注 3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。
 注 4 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、○工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標（生産数量、延べ床面積、走行距離等）を記入してください。
 注 5 「その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等」のうち「森林の保全及び整備」の「目標年度（計画）」欄には計画期間中の目標の累計を、「報告年度（実績）」欄には実績の累計を記入してください。
 注 6 「特記事項」には、平成2年度（1990年度）を基準とした排出量の対比や、省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達採用、特定フロンなどの条例指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。